

(仮称) 東池袋駅周辺まちづくり方針の策定検討について

1. 経緯

- ・平成 27 年 3 月 「豊島区都市づくりビジョン」策定（区）
 - 池袋駅周辺及び東池袋駅周辺を、相互に連携して「池袋副都心を形成する核」に位置づけ
 - 池袋副都心を再生へと導く都市再生プロジェクトとして、「東池袋駅周辺まちづくりの推進」を設定
- ・平成 27 年 7 月 池袋駅周辺地域（143ha）を特定都市再生緊急整備地域に指定（国）
- ・平成 28 年 6 月 「池袋駅周辺地域まちづくりガイドライン」とりまとめ
(池袋駅周辺地域再生委員会)
 - 特定都市再生緊急整備地域全体のまちづくりの将来像と実現に向けた戦略を示す
 - 東池袋駅周辺エリア：「魅力ある都心居住の実現」、「交通結節機能の強化」、「木造住宅密集地の連鎖的な解消」の推進
- ・平成 30 年 5 月 「池袋駅周辺地域基盤整備方針 2018」とりまとめ
(池袋駅周辺地域再生委員会)
 - 特定都市再生緊急整備地域全体において官民連携で実現すべき都市基盤のあり方を示す
- ・令和 2 年 2 月 「池袋駅コア・ゾーンガイドライン 2020」策定（区）
 - 池袋駅コア・ゾーンの都市再生に必要な機能と優先的に取り組むべき事項を整理
- ・令和 4 年 1 月 「池袋東口と西口をつなぐウォーカブルなまちづくり」公表（区）
 - 東西のシンボルストリートを中心としたウォーカブルなまちづくりを推進
- ・令和 4 年 6 月 第 1 回東池袋駅周辺まちづくり検討会開催
 - 東池袋駅周辺まちづくりに関する検討を開始

2. 本まちづくり方針の概要

(1) 検討の目的

当該エリアは、池袋副都心の発展を支えてきたサンシャインシティが開業 50 年を見据え、新たな時代の要請への対応を求められているとともに、現庁舎の移転やイケ・サンパークの開園、東京国際大学の開校の他、環状 5 の 1 号線、補助 8 1 号線の開通を見据えて民間開発が活発に実施されている成長著しいエリアである。本まちづくり方針は、地域の将来像とその実現に向けた取組みを示し、地元や区、事業者が連携してまちづくりを進めていく際の指針とすることを目的とする。

(2) 対象範囲



(3) 主な検討項目

- ・ 東池袋駅周辺地域の特性
- ・ まちづくりの動向
- ・ まちの将来像と取組み など

3. スケジュール

令和 5 年 11 月 8 日 第 11 回池袋駅周辺地域再生委員会報告

令和 5 年 12 月下旬 豊島区都市計画審議会へ報告予定

以降、池袋駅周辺地域再生委員会に素案を諮り、区において、パブコメを実施し、年度末の策定・公表を予定しております。